

ねらい

第一問では、「地熱発電」に関する新聞記事を素材とし、発電の仕組みや電力、電力量に関する基本的な知識、本文の内容を的確に読み取り、資料と関連付けて考察したことを適切に表現できる力をみようとしました。

第二問では、「働く」ことに関する会話文を素材とし、日本の国民の三大義務や社会保障に関する基本的な知識、本文の内容を的確に読み取る力や自分の考えを明確に表現する力をみようとしました。

第一問 次の文章を読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

火山国の日本は、地熱資源が豊かだ。地球温暖化対策にも役立つ地熱発電を普及させたい。環境省は、国立・国定公園での地熱発電に対する規制を緩和する方針を決めた。近く都道府県などに通知する。

①地熱発電は、火山のマグマの熱で生じる蒸気を井戸でくみ上げ、タービンを回す。二酸化炭素をほとんど排出せず、太陽光や風力のように天候に左右されない安定した再生可能エネルギーだ。

日本の地熱資源量は2340万キロ・②ワットに達する。米国、インドネシアに次ぐ世界3位の量だ。福島第一原発の事故後、再生エネへの期待が高まった。地熱発電も、再生エネの固定価格買い取り制度に後押しされ、事業計画が急増している。検討段階を含め、約70地点で開発の動きがある。

だが、現時点で利用されているのは、国内の資源量の2%に過ぎない。8割が集中する国立・国定公園での開発制限が、普及が遅れていた要因の一つだ。

今回、公園内で最も規制が厳しい特別保護地区を除き、全域での開発が可能になる。特別保護地区周辺の第1種特別地域では、発電所建設は認めないものの、地下の地熱資源に隣接地から斜めに掘り進む形での開発を解禁する。

その他の地域では、現行の高さ制限を超える発電施設も、景観と調和していれば建設を認める。

政府は、総発電量に占める地熱の割合を、現在の0.3%から2030年には約1%に引き上げる目標を掲げている。規制緩和で導入に弾みをつけたい。

地熱発電開発には10年以上の期間を要する。適地を探し、試掘をして事業の採算性を精査する必要があるからだ。大型発電所の初期投資額は200億円超に上る。

地熱資源が豊かな地域の多くは観光地だ。発電所建設では、温泉の枯^{かつ}渇を懸念する地元との合意形成が難航しがちだ。

経済産業省は、地元の理解促進や井戸掘削の補助、発電所建設の債務保証などに、年230億円を投じている。有望な発電計画を効果的に支援したい。

無論、生態系や景観に対する配慮は欠かせない。環境省は国立公園内の植生や希少動物についてデータ整備を進める。環境負荷の少ない発電所の建設地点を選ぶ参考になるだろう。

環境影響評価の対象外である小規模の計画も目立つ。コストを抑え、開発期間も短縮できるためだ。乱開発にならぬよう、環境省や自治体が監視する必要がある。

(「2015.8.31 読売新聞 地熱発電 豊富な資源を有効活用しよう」による)

1 下線部①と同様に、蒸気でタービンを回して発電する方法を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 水力発電 イ 原子力発電 ウ 風力発電 エ 太陽光発電

2 下線部②に関する次の文章の 、 にあてはまる数値を書きなさい。

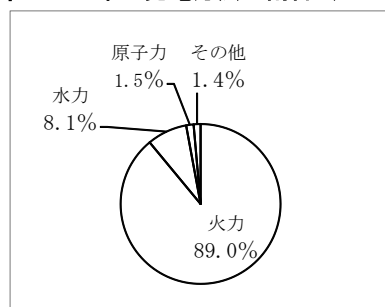
消費電力が1200Wのドライヤーがあります。家庭用の電源の電圧を100Vとすると、このドライヤーに流れる電流は Aです。また、このドライヤーを1分間使用したとき、消費する電力量は Jです。

3 本文の内容を踏まえて、地熱発電の利点と問題点を3点ずつ簡潔に述べなさい。

4 右の資料Aは、2012年における日本の発電方法の割合を示したものです。

本文の内容と資料Aを踏まえて、日本の発電方法は、これからどうあるべきだと思いますか。あなたの考えとその理由を二百字以内で述べなさい。

資料A 日本の発電方法の割合(2012年)



(「データブック・オブ・ザ・ワールド 2016」より作成)

第 二 問 「働く」 ことについて、高校生の勇人さんが新聞記者に質問をしています。次の文章を読んであとの 1～5 の問いに答えなさい。

勇人：夏休みに友達と旅行に行くお金が要るから、アルバイトをしたいんだ。でも、働いてお金を稼ぐって、大変なんですよ。

記者：学生の本分は勉強だし、部活で心身を鍛えるのも今しかできないことだけど、君も大人になればきっと、会社に就職したり、自分で事業を始めたります。今回は、働くことの意味を考えてみよう。憲法が定める「国民の三大義務」は知ってる？

勇人：「①」「勤労の義務」「②」。学校で習った気がする。

記者：その通り。働くことは、国民の義務の一つだね。そもそも、生きていくうえでは何かとお金が必要。君が部活帰りにジュースを買うときはもちろんだけど、お母さんが家で作るご飯だって、君にはタダに思えても、材料費や光熱費がかかっている。おしゃれな洋服も着たいし、暑さ寒さをしのぐ住まいも要るね。スマホだって通信料を払う必要がある。多くの人は、こうしたモノやサービスを働いて得た収入で買っている。一方で、企業などは、働く人がいるからこそ、モノやサービスを作り出せる。つまり、人は働くことで、消費経済に参加しているんだ。会社勤めの人だけでなく、自営業や農林漁業などで働く人でも基本的に同じだ。

勇人：僕のお母さんは、家族を養うために毎日、頑張っていて働いてくれているし、勤め先や社会にも貢献しているんだ。

記者：君は将来、どんな職業に就きたいかな。夢は人それぞれだけど、仕事を通じて自己実現を図ったり、誰かの役に立ったり、難しい仕事を成し遂げて達成感を味わったり。働くことは、精神的な喜びや満足を得ることにもつながるんだ。お金に余裕があれば、余暇や趣味を楽しむこともできるから、暮らしを充実させる面でも大切だね。一方で、働くことは、社会全体の支え合いに参加することでもあるんだよ。

勇人：どういうこと？

記者：学校や病院、橋や道路といった社会基盤の整備、お年寄りたちがもらう年金、若い世代も利用する医療保険や福祉サービスなど、国や地方自治体が行う事業にもお金がかかる。その費用は、主に税金や③社会保険料でまかなわれていて、働く人たちの多くは、給料や収入の中からそれらを納めている。もちろん、お年寄りなど働いていない人も、物を買った時に払う消費税などで支え合いに参加している。

勇人：でも、近所のお兄さんは大学卒業後もずっとアルバイトで、「自分の生活だけで精いっぱい」ってこぼしていたよ。

記者：最近では、パート、派遣社員など非正規労働者と呼ばれる人たちが増えている。正社員と比べて、残業や転勤が少ない反面、働ける期間が限られていたり、収入も低かったりする。国の調査では、非正規労働者は2014年で1962万人と、1985年の約3倍になった。勤め人（役員を除く）に占める割合は37.4%に達し、今や3人に1人は非正規労働者なんだ。

勇人：なぜ増えているの。

記者：④。でも、収入が低ければ、社会の支え手になるどころか、将来も含めて自分の生活すらままならない。多様な働き方を認めながらも、社会保障の恩恵が受けられ、その担い手にもなれるような仕組みが求められているよ。

(「2015. 5. 28 読賣新聞 気になる社会保障 Q&A」より作成)

- 1 ① と ② には、「勤労の義務」以外の国民の三大義務が入ります。あてはまる語句をそれぞれ書きなさい。
- 2 下線部③は、日本の社会保障制度の基本的な4つの柱の1つです。他の3つを書きなさい。
- 3 ④ には非正規労働者が増えた理由を述べた文が入ります。あてはまる内容を考えて、簡潔に述べなさい。
- 4 会話の中で記者は、働くことの意味はどのようなことだと述べていますか。簡潔に3つ述べなさい。
- 5 将来、職業に就くときに備えて、どのような高校生活を送るべきだと考えますか。あなたの考えとその理由を二百字以内で述べなさい。